

原子力産業新聞

—第311号—

昭和40年2月5日
毎月3回(5日、15日、25日)発行
1部7円(送料不要)
購読料 1年分前金200円

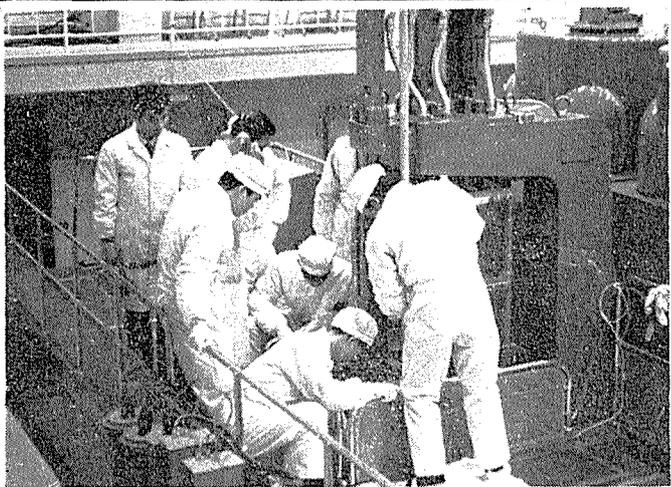
昭和31年3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業会議

東京都港区芝田町1の1(東電旧館3階)

電話(59)6121~5

振替東京5895番



JRR-4の臨界実験に12本目の燃料棒を装入する燃料班

JRR-4が臨界到達 一月二十八日 午前3時25分 予定を約五時間短縮

日本原子力研究所のJRR-4(スイミングプール型、一千KW)の臨界実験は、一月二十七日午後一時開始、二十八日未明午前二時二十五分、燃料棒十二本(ウラン235一九七セ)で臨界に達した。今後は燃料棒を追加装入しながら五時間まで出力上昇試験など原子炉の特性試験、ついで実験設備の特性試験を行ない十月ごろから原子力船開発事業団、船舶技術との共同研究による原子力船の原子炉しゃへいモックアップテストに入る予定。

臨界実験は第一プール燃料棒十二本の装入開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

燃料棒十二本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

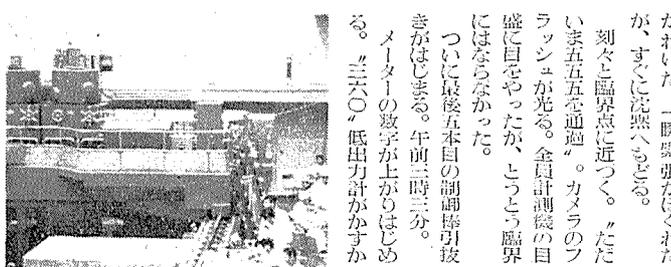
午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃



配置についての総括班

日本原子力船開発事業団は二月一日午後一時三十分、東京虎ノ門の船舶振興ビル会議室で、大手造船七社の担当幹部を招き、原子力船の建造発注について説明した。同事業団は一昨年八月発足した。

刻々と臨界点に近づく。カメラのフラッシュが光る。全員計測機の目盛に目をやると、とうとう臨界にはならなかった。ついで最後五本目の制御棒引抜きがはじまる。午前二時三十分、メーターの数字が上がりはじめる。「三六〇」低出力計がつかすか

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

午後十時十分、燃料棒十本目が装填完了。十一時半には夜食(サンドイッチとコーヒ)がでて各作業員が交代した。いよいよ夜間作業のスタート。実際の行程ごとに報告がマイクを流れる。ヘッドにねながら、時折パッと飛び起きて表に記録する作業員。いよいよ二十八日午前零時、燃

料棒十一本目の装填開始、九分装は二つあるので、八割達達主任技術者指揮のもとに行なわれた。午後三時七分、燃料棒五本を炉心要素貯蔵庫へ装入、黒鉛の反射体要素を炉心チャンネルから取り出しながら、そのあとへ燃料棒を装入する。計測係が中性子カウンタ逆数を計算、ついで制御棒の引抜き、また中性子カウンタ数の計算、記録、実験は順調に予定よりも少し早目に進んだ。

名古屋における 原子力特別講演会

主催 日本原子力産業会議・中部原子力懇談会

わが国の原子力開発10周年の記念すべき年に当り中部地区では中部電力の原子力発電所建設が具体化するなど、原子力開発の気運がもたらがってきているので、つぎの講演会を開催することになりました。一般の御来聴を歓迎します。

とき 2月16日(火)午後1時30分
ところ 名古屋市中電ホール(東区東新町)

◇あいさつ 中部原子力懇談会委員長 井上五郎氏
日本原子力産業会議副会長 松根宗一氏
国務大臣・原子力委員長 愛知揆一氏

◇講演 世界の原子力開発について 駒形作次氏
原子力委員 丹羽周夫氏
わが国の原子力研究開発について 日本原子力研究所理事長 放射線・アイソトープの利用開発について 東大名誉教授 木村健二郎氏

なお2月17日、岐阜商工会議所で中部原子力平和利用PRセンター岐阜支部主催の講演会を開き、丹羽原研理事長が内外における原子力の現状と将来、と題し講演します。

J.G. パーフレイ氏(米原子力委員)インドのプルトニウム・プラント完成祝賀式典に列席の帰途、二月一日羽田着が因に立寄ったが二日離日。
兼寛九郎氏(原子力委員)パノコクの国連経済社会理事会科学諮問委員会地城別会議に出席のため二月八日出発、十日帰国。

十八日理事会開催
二月十八日日本工業クラブで、午前十一時から第六十二回常任理事会、正午から第六十九回理事會を開き、昭和四十年年度の事業計画と予算大綱を審議する。財務委員会、十五日後一時半開会。放射線化学研究会運営會議、八日後一時半開会。放射線化学委員会、第一回常任委員会、九日後一時開会。R1委員会、第一回常任委員会、十日後一時開会。企画部、十二日正午開会。安全特別研究会、地震小委員会、二十日午後一時開会。原子力研究所、施設設計グループ、十七日午後一時開会。炉心設計グループ、十七日午後一時開会。再処理施設物処理グループ、二十二日午後一時開会。

発注方法説明 第一船 来月一日指名競争入札に

石川島播磨重工業、浦賀重工業、川崎重工業、日本鋼管、日立造船、三井造船、三菱重工業の原子力第一船の建造費は予算約三十六億円で、受注者への支払い方法は一般船舶の場合と同様出来高に応じて前払いされる。なおこの目録された仕様書によれば主要要目はずつとわたり、きき

原子力局長 に武安義光氏

鈴木氏は原研監事に
政府は二月一日午後、原子力局長鈴木武安氏を日本原子力研究所監事に任命した。またこれに伴って科学技術庁は同日、宮内省事務局長武安義光氏を原子力局長に任命し、振興局長長井直樹氏の秘書長職を兼任することにした。鈴木氏は原研監事に就任した。武安新長(長)は、大阪府出身、大正九年十月生れ、四十四歳。昭和十六年十二月東京帝大工学部電気工学科卒業、電気技術士、陸軍航空技術校、商工技術官、通産省人事院、工業技術院の課長に転任。同年五月科学技術庁に転任。同年九月原子力局長に任じられた。同年九月原子力局長に任じられた。同年九月原子力局長に任じられた。同年九月原子力局長に任じられた。

水による被害などの前例からみて、さらに一段の検討を要すると思われる。

疲 筋 治 25分錠 SAN 三共株

Toshiba 国産第一号機として威力を発揮する!
東芝リニアアクセラレータ

Co⁶⁰数百キロ・キューリの照射装置に匹敵する粒子加速器

項目	性 能	LK 6-3形	LK 9-4形
電子エネルギー		2~7MeV	4~12MeV
電子流出力(max)		2kW	3.6kW
電子流(max)		150mA	250mA
パルス幅		5.2μs	5.2, 2.5, 0.6, 0.2μs
パルス繰返し周波数(max)		600%	360%
周波数		2,800Mc	2,800Mc
レントゲン量(at 1m)		2,000r/min	8,000r/min
電源		80kVA	85kVA

東京芝浦電気株式会社

RCC ラジオアイソトープ
標識 化合物
C¹⁴ H³ S³⁵ P³² I¹³¹ I¹²⁵ Se⁷⁵
新カタログ送付します

THE RADIOCHEMICAL CENTRE
エ・ア・ブラウン・マクファレン株式会社
東京都中央区銀座2の3米井ビル 電話 (561) 5141~5

原子力第一船の

指名競争入札

注目されていた原子力第一船の指名競争入札は、造船業者を主要競争者とする指名競争入札に決まり、原子力船開発事業団では、二月一日から仕様書の説明を開始した。入札は三月一日に行なわれる予定で、開発に際しては日本の原子力船も、いよいよ具体化の一歩をふみ出すことにな

黒鉛ガス炉を仏側に

情報交換が実規模に進展

西ドイツ政府は、フランス電力庁(EDF)と西ドイツの電力企業RWEが共同で電出力五十万KWの原子力発電所を建設することに同意したと発表した。発電所はフランスが開発した天然黒鉛減速ガス冷却のEDR型で、西ドイツのジメンス社とフランスのG.A.A.社が建設することになる。この発表は、この共同計画に続いて、さらに一つ西ドイツ側に、仏独共同で天然黒鉛減速ガス冷却炉による原子力発電所を建設することになるものとされている。

仏独共同で大型発電炉を建設

今回の入札が造船業者への一括発注方式をとったのは、サバンナ号(満載排水量二万一千八百五十ト)の経験を考慮した結果といわれている。サバンナ号では、造船業者と原子力メーカーの双方を主契約者にしたが、このやり方は必

放射線で野菜スープ

米リプトン社が実用化へ

アメリカの家庭に販売される最初の放射線照射食品は、トーマス・J・リプトン社が作った乾燥野菜スープになりそうである。同社が実施しようとしているこの食品は、スープに入れる乾燥野菜に三千万ラドの放射線(X線)を照射し、その照射工程についての特許を得ている。

天然ウラン黒鉛炉の再認識を要望

富士電機

天然ウラン黒鉛炉の再認識を要望する。原子力産業新聞に掲載された記事によると、天然ウラン黒鉛炉の再認識を要望する。原子力産業新聞に掲載された記事によると、天然ウラン黒鉛炉の再認識を要望する。

西独、再処理会社を設立

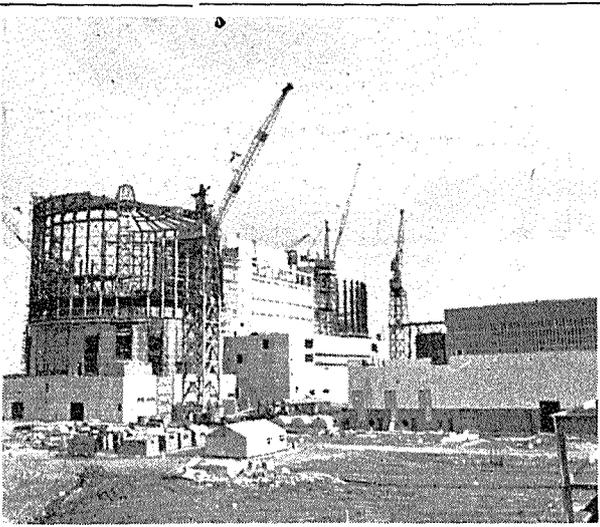
フロント建設費は全額政府が負担

西ドイツは核燃料再処理計画を進めるため、二万マルク(百八十万円)の資金で新しく燃料再処理会社を設立することになった。この会社はフランクフルト・ヘンリヒ・ベルグ・ヘルツ社の共同出資によるものである。

第三回 原子力総合シンポジウム

学会が二月十五、六日学芸会館で開催

二月十五、六日、東京神田の学芸会館で開かれる「第三回原子力総合シンポジウム」の日程は既報のとおりである。全紙三〇四号が、その詳細が決まった。この二日間の講演テーマと講演者は以下のとおりである。



一九六六年完成予定の英オールドベリ原子力発電所

Advertisement for Anoda Fire & Marine Insurance (安田火災海上). It features a logo with a star and text: 'ご家庭に住宅総合保険' and 'お店に店舗総合保険'. Below the logo is the company name '安田火災海上'.

運転の経験を博すること、専門家の養成であるといっている。JCAE委員長にホルフィールド氏。米上下両院合同原子力委員会(JCAE)の委員で下院議員のチャット・ホルフィールド氏は、第八十七議会JCAE委員長に選出された。一方、前委員長ジョー・O・バスター氏(上院議員)はJCAE委員長が下院で交代に選出されることになっている。

米AEC重水有機物炉の開発で契約。米原子力委員会(AEC)は、コンパッション・エンジニアリング(CBE)社とアトミック・インターナショナル(AI)社が共同で開発する重水減速有機物炉(HWOCR)計画に対し、一九九

一方、この研究開発を援助しているE.I.デホネ社は、CEI-AI計画の主要役およびウラン合金、重水技術に関する仕事を担当する。ス、水炉の熱工学、東工大青木成文、ガス、水炉の材料工学的比較、東大三島良、ナトリウム炉の熱工学、東北小村清志、ナトリウム炉の材料工学、原研吉川和男。

の海軍、早大長谷川正義、放射性破壊試験の趨勢、東大藤原良夫、原研における照射脆性試験、原研藤村理人。▽討論会II 原子炉事故後冷却装置に関する討論会。①冷却材喪失時の炉内変化、②電試竹越、③冷却材の流出、④東大成英樹、⑤コアブレイク、⑥日立斎藤良平、⑦圧力抑制式格納炉、⑧日本原子力産業市野市郎、⑨コンテナ・スプレー、⑩三菱原子力川口修。

Large advertisement for Honjo Paper (本州製紙). It features a logo with a bird and text: '洋紙一般・白板紙' and 'ダンボール原紙'. The main text is '本州製紙'. Below it, contact information is provided: '取締役社長 横田 信夫', '東京都千代田区丸の内2-18', '電話 (212) 5311(大代表)'. On the right side, it says '東京都新宿区角筈3丁目244番地', '本社仮事務所', '電話 東京 (376) 大代表 3111'.

天然ウラン黒鉛炉の再認識を要望

核燃料政策の確立を

五十万KWで軽水炉より有利

富士電機(社長和田恒輔氏)はこのほど「天然ウラン黒鉛炉に関する提言」を公表した。同提言は、軽水炉の日本におけるコストは原電一号炉の建設費に比べて、五十万KWの天然ウラン黒鉛炉は建設費と初運転燃料費で軽水炉と同じ、発電原価はBWRより安くなる。また、天然ウラン黒鉛炉は核燃料の安定供給と将来有用なウランの国内蓄積、輸入外貨の節約、プルトニウムの生産性、輸出可能の同産物化など、すぐれていると、五十万KW炉の建設費はKW当たり九万円が可能なコストを明細を公表している。

同書の概要は次のとおり。
最近、軽水炉の経済性達成をとなせる意見が多く、将来わが国に建設される熱中性子炉は軽水炉以外には考えられないとの主張があるが、原子力プラントのコスト、ならぬ必要要素の多いものはなく、米国内で軽水炉がKW当り四万円を割るといふ記事は、それ自体センセーショナルなものであるにしても、これがそのまま日本国内に再現されると考える人は少なからず、条件、安全性などの検討を経て初めて現実的なコストとなつて表われるもので、日本における軽水炉のコストは、原電一号炉建設費を初めつかみ得るものである。

エネルギー政策 策上利点多し

エネルギー政策上から天然ウラン黒鉛炉をながめると、濃縮ウラン炉に比べ、幾多の利点をもっている。まず第一に、濃縮ウランの供給は今のところ米国のみに限られており、価格面や安定供給に問題があるが、天然ウランにはその心配がなく、安定供給の面ですべて有利である。第二に、ウランは高濃縮炉用の貴重燃料となるものだが、天然ウラン黒鉛炉は、使用済み燃料中のウランの絶対量が軽水炉より多く、将来のエネルギー資源の国内蓄積に資している。第三に、濃縮ウラン燃料の濃縮以外の全工程をすべて国内で行なってもBWRでは、天然ウラン黒鉛炉の約二倍の外貨を必要(設備容量一千万KWでは、年間百四十億円に約し二百八十億円)とし、外貨節約に有効。第四に、プルトニウムは高濃縮炉の貴重な燃料だが、天然ウラン黒鉛炉は、BWRに比べ同規模の発電所で約一倍のプルトニウムを生産する。天然ウラン黒鉛炉から生産されたプルトニウムは200tの含有率が高い良質のものである。第五に、天然ウラン黒鉛炉は現在、当り四千万MW程度のバーンアップだが、近く五千万程度になる。BWRは天然ウラン換算五千一六千MWでほぼ同等

原子力産業

総合エネルギー政策に重点

日本原子力産業協会(会長 藤田七之進)は、一月二十五日午後一時から東京赤坂のプリンスホテルで第一回委員会をひらき、委員会議の趣旨と経過説明ののち、当面の審議課題を討議した。委員会議の趣旨は、総合エネルギー政策における原子力発電の意義は、高濃縮炉の増産による核燃料の有効利用を図るにあり、この観点から、これに対する産業界の考え方を打ち出すこと、また熱中性子炉、高濃縮炉、中間炉に対する研究開発と国際化の問題について検討することとを当面の課題として討議することになった。また、この委員会は発電推進委員会と密接な関係があるため、委員長を相互の会

一号炉正式見積りのへ

原電、米WH・GEへ依頼

日本原子力発電(株)は、一月三十日、米GEウエスチングハウス社とゼネラル・エレクトリック社に、福井県敦賀地点に建設する第一号炉の正式見積りを依頼する。原電はこれについて、単に三十万KW級とのみ詳細は発表していないが、両社からの見積り提出は四月後の五月末になる見込みである。

なお、原電の第一号炉建設費は、初運転燃料の成型加工費を含めて約三百八十億円を見込み、その調達のため、まず百億円の増資が予定されている。その第一回分

事業計画案を審議承認

原産サービ事業本部経営委員会

原産サービ事業本部は、一月三十一日午後一時三十分、原産部長室で第二回経営委員会を開き、藤田七之進(原産)委員長が出席し、事業計画案の審議承認した。結果、いづれも次のとおり承認された。

◇実施設備の事業 ①図書資料の刊行 ②原子力年鑑二十年史との関係考慮して刊行の時期と形態を定める ③原子力特許審判七月以降の発行形態を再検討する ④第六回日本原子力学会論文誌の集録三十九年度末までに刊行する

◇原子力防務 ①防務防衛 ②放射線防護 ③放射線防護 ④放射線防護 ⑤放射線防護 ⑥放射線防護 ⑦放射線防護 ⑧放射線防護 ⑨放射線防護 ⑩放射線防護 ⑪放射線防護 ⑫放射線防護 ⑬放射線防護 ⑭放射線防護 ⑮放射線防護 ⑯放射線防護 ⑰放射線防護 ⑱放射線防護 ⑲放射線防護 ⑳放射線防護 ㉑放射線防護 ㉒放射線防護 ㉓放射線防護 ㉔放射線防護 ㉕放射線防護 ㉖放射線防護 ㉗放射線防護 ㉘放射線防護 ㉙放射線防護 ㉚放射線防護 ㉛放射線防護 ㉜放射線防護 ㉝放射線防護 ㉞放射線防護 ㉟放射線防護 ㊱放射線防護 ㊲放射線防護 ㊳放射線防護 ㊴放射線防護 ㊵放射線防護 ㊶放射線防護 ㊷放射線防護 ㊸放射線防護 ㊹放射線防護 ㊺放射線防護 ㊻放射線防護 ㊼放射線防護 ㊽放射線防護 ㊾放射線防護 ㊿放射線防護

研究開発利用促進と高崎研への協力

放射線化学委員会

原産の放射線化学委員会(委員長 長井正治)は、一月三十一日午後一時から東京赤坂のプリンスホテルで第一回委員会を開き、藤田七之進(原産)委員長が出席し、事業計画案の審議承認した。結果、いづれも次のとおり承認された。

◇実施設備の事業 ①図書資料の刊行 ②原子力年鑑二十年史との関係考慮して刊行の時期と形態を定める ③原子力特許審判七月以降の発行形態を再検討する ④第六回日本原子力学会論文誌の集録三十九年度末までに刊行する

◇原子力防務 ①防務防衛 ②放射線防護 ③放射線防護 ④放射線防護 ⑤放射線防護 ⑥放射線防護 ⑦放射線防護 ⑧放射線防護 ⑨放射線防護 ⑩放射線防護 ⑪放射線防護 ⑫放射線防護 ⑬放射線防護 ⑭放射線防護 ⑮放射線防護 ⑯放射線防護 ⑰放射線防護 ⑱放射線防護 ⑲放射線防護 ⑳放射線防護 ㉑放射線防護 ㉒放射線防護 ㉓放射線防護 ㉔放射線防護 ㉕放射線防護 ㉖放射線防護 ㉗放射線防護 ㉘放射線防護 ㉙放射線防護 ㉚放射線防護 ㉛放射線防護 ㉜放射線防護 ㉝放射線防護 ㉞放射線防護 ㉟放射線防護 ㊱放射線防護 ㊲放射線防護 ㊳放射線防護 ㊴放射線防護 ㊵放射線防護 ㊶放射線防護 ㊷放射線防護 ㊸放射線防護 ㊹放射線防護 ㊺放射線防護 ㊻放射線防護 ㊼放射線防護 ㊽放射線防護 ㊾放射線防護 ㊿放射線防護

開放研究室利用者を募集

原産東海

原産東海研究所は、いまホット六室、コールド十一室の開放研究室利用者を募集している。利用期間は原則として一年間、利用料金は一月月額二万円、光熱水費、消耗品費などは利用者の負担。希望者は所定の申し込み書を二月二十七日までに原研へ。

三田中部電力副社長

中部電力副社長三田民雄氏がかつて名大付属病院で副院長、二月二日午後五時四十五分死去した。五十八歳。葬儀は六日正午から午後一時二十分まで名古屋市中区法王町二一日泰寺で社葬、ひきつぎ二月二十三日まで告別式を行なう。

喫煙室

ガルベトンといふ、原子力船関係者でだれ一人知らぬ人がいないほど有名な、アメリカの原子力船サバナ号の基地で、同船が入渠補修を行なっている。この喫煙室はガルベトン市ペリカ島にある。▼東京新聞によると、同市は、わたが瀬瀬市姉妹都市の関係にあり、渡辺浩太郎新潟市長は、一月二十八日から、同市を訪問中。親善のための各種催しに参加しているという。▼石油の町新潟と、原子力船基地ガルベトン市の組合せは面白い。この夏にはサバナ号が日本へくるというが、親善に一役買ってほしい。

疲れ・肩こり・神経痛に

ピオタニン

●筋肉痛・疲れ目・便秘・夜尿症・難聴・心臓病にも
●治療には1日25~200mg ●無臭・持続性の新型活性ビタミン剤
25mg錠・50mg錠 各30入・100入 他に5mg錠・散

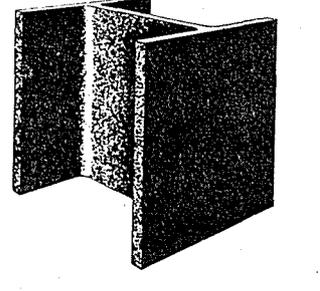
三共株式会社 巨人軍 長島選手



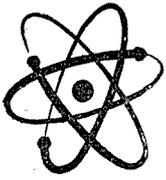
明日の日本を礎く……………H形鋼

I 構造用H形鋼 II 基礎杭用H形鋼

用途・橋梁 地下鉄 建築(ビル) 工場 発電所 学校 その他) 船舶 機械 鉄塔 鉄道 土留 各種基礎杭 岸壁 下水



八幡製鉄株式会社



原子力産業新聞

—第312号—

昭和40年2月15日
毎月3回(5日、15日、25日)発行
1部7円(送料不要)
購読料 1年前金200円

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業協会

東京都港区芝田村町1の1(東電18階3階)

電話(59)6121~5

振替東京5895番

衆議院 異例の委員長質問

原子力委の使命究明

愛知 新委員の人選で強化

衆議院科学技術振興特別委員会(委員長岡田氏)は、二月三日愛知科学技術庁長官の所信表明後、昭和四十年科学技術行政の概況を説明したが、十日の第四回委員会では原子力関係の質疑応答があり、岡委員長から特別委員異例の委員長質問が行われた。岡委員長は「この中で原子力委員会は本来の使命にたかき、国家的見地から原子力政策を企画し、指導していくべきではないかと感じ、ついで福井(自民)三木喜夫(社会)の両氏が、原子力第一船の指名競争入札を三月一日に控える点について愛知長官の説明を求めた。岡委員長は「造船七社が必らずに競争入札を希望しているのは、主として政府の出資の船体建造費三十六億円の探算の問題だと考え、原子力平和利用第一船の開発という観点から、造船会社の方々に大いに勉強してもらいたい。必要ならは当庁としてもならなかのあせんに乗りだしたい」と答えた。

また三木喜夫氏(社会)は原子力第一船の安全性と原子炉の万一の事故の場合の責任の所在について質問したが、愛知長官は原子炉の安全性の責任が国家にあることを認め、さらに「航行上の対人的な安全を確保するため、特別な立法措置が必要だと考え、その準備を進めている」と述べた。

また石川、西村三原原子力委員は「二月二十一日任期満了となる。委員は二月二十一日任期満了となる。委員は二月二十一日任期満了となる。」

事実誤報を確認 原子力産業部会

業界再編問題で部会長談話

通産省産業振興審議会の原子力産業部会(部会長堀越植一氏)は通産相の諮問に答えるため、昨年八月二十五日以来、原子力産業のあり方について審議を重ねてきたが、一月二十日の第五回部会に際して、新聞記者が、審議の実際とはなほは相異なると指摘され、原子力産業界にかなり大きな衝撃を与えた。このため二月四日緊急臨時部会を開き、この「誤報問題」の善後策ならびに今後の運営について討議した結果、別掲部会長談話を発表するに至り、今後新聞発表のやり方については慎重を期すことになった。

二月四日の臨時部会では、東京丸の内日本開発銀行会議室で、午後一時開会。まず堀越部会長から「この部会で審議したかった」と審議したように新聞に出たことはなほなほなかった。部会長としての職に止まるべきではないか」という点で、全員の賛同を得た。事務局にも十分注意しないか、本日この対策を中心として、今後審議の進め方に注意を要する。事務局に十分注意しないか、本日この対策を中心として、今後審議の進め方に注意を要する。



原燃東海製錬所で係員の説明をきく見学会

原燃の「東海製錬」における原子力は三十一名参加して実施された。セミナーと見学会は、ことしは各社の管理層を対象に、からサービス事業本部の手に引継がれ、二月五、六両日の第四回は、東海製錬の原子力施設を見学し、セミナーを開いているもの。

東海見学会とセミナーの会

二月は事業本部が引継いで実施

セミナーはホテル東海クラブで開かれ、第四回は原子力委員会の「わが国の原子力開発の現状と将来計画」と題して、新聞記者と原子力関係者、経済界、学術界の「原子力利用の経済的意義」と題する講演があり、第五回は村田原子力部長が「わが国の原子力開発の現状と将来計画」の演題で講演した。

政府は二月十一日の閣議で、OECD(経済協力開発機構)に対し、その下部機構であるENEAEA(欧州原子力機関)に加盟の申し入れをすることを決定した。ENEAEAは現在、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなどヨーロッパの十八カ国で構成されているが、わが国がこれに加盟を希望したのには、科学プロジェクトに参加するに際して、経常予算分担の義務はなく、ただ共同事業やプロジェクトに参加するだけであるとの関係がある。このためアメリカ、カナダも加盟国として参加している。なおENEAEAの活動状況はつき

準加盟を決定 12日閣議で

ENEAEAに

政府は二月十一日の閣議で、OECD(経済協力開発機構)に対し、その下部機構であるENEAEA(欧州原子力機関)に加盟の申し入れをすることを決定した。ENEAEAは現在、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなどヨーロッパの十八カ国で構成されているが、わが国がこれに加盟を希望したのには、科学プロジェクトに参加するに際して、経常予算分担の義務はなく、ただ共同事業やプロジェクトに参加するだけであるとの関係がある。このためアメリカ、カナダも加盟国として参加している。なおENEAEAの活動状況はつき

「行く人・来る人」 岩下文雄氏(愛産社長) インド中近東などの海外市場を視察するため二月六日出発、三月一日帰国予定。
P・スベッカー氏(ヘルギー)の原子力研究員、再処理技術指導のため原研の招へいで来日中、二月二十一日帰国する。

サエランド氏講演会

来聴歓迎

二月二日(火)午後二時三十分 東京丸の内 日本工業クラブ
講義・ENEAEAの活動について
ENEAEA事務局長 E・サエランド氏 来聴歓迎 (交互通訳)

原産たより

第一六二回常任理事会 二月十八日午前十一時日本工業クラブ第六九回理事会 十八日午前日本工業クラブ
名古屋の特別講演会 十六日午後一時半中野電力ホール
安全特別研究会 地震小委員会 二十二日午後一時原産
第二回国際協力委員会 二十三日午後一時原産
開発計画委員会、発電推進委員会 合同幹事会 二十五日午後一時半原産
原子力研究会 炉心設計グループ十七日午後一時原産、原子炉安全グループ十九日午後一時原産、計装制御グループ二十三日午後一時原産、コスト・グループ二十四日午後一時原産、再処理施設物処理グループ二十五日午後一時原産、動力開発グループ二十六日午後一時原産

Toshiba
原子力機器
放射線機器
東芝放射線株式会社 本社・東京都中央区日本橋江戸橋3-7電話(272)4271~4282 支店営業所(サービスステーション)・全国主要41都市

新着書御案内

The Interaction of Radiation with Solids. Ed. by R. Strumane et al. Proceedings of the International Summer School on Solid State Physics held at Mol, Belgium, Aug. 12-31, 1963. 816 S. 1964 (North-Holland).....	9,600
The Nuclear Properties of the Heavy Elements. (Prentice-Hall) By E. K. Hyde et al. 1964..... 3 vols. set	19,800
Vol. 1: Systematics of Nuclear Structure and Radioactivity. Vol. 2: Detailed Radioactivity Properties. Vol. 3: Fission Phenomena.	
The Theory and Practice of Scintillation Counting. By J. B. Birks. "International Ser. of Monographs on Electronics and Instrumentation, Vol. 27" 662 p. 1964 (Pergamon P.).....	7,200

東京都新宿区角管 1丁目826番地 株式会社 紀伊國屋書店 振替東京125575 電話大代表(354)0131

動力炉開発懇談会に望む

原子力委員会の動力炉開発懇談会、および通産省の原子力産業部の審議が進展するにつれて、今後の動力炉開発方針をめぐって、開発懇談会の方針をめぐって、一応の成案を得たいとされており、この方針が決定すれば、おそらく今後十年あるいはそれ以上の期間にわたる原子力開発の軌道が敷かれることになる。各界の強い関心を集めるのは当然であるが、またあくまで慎重に、早くすべき審議を早くすることを目指す。

その中で心配なのは、懇談会の審議が、四月という期限を切られ、国のプロジェクトとして推進されることである。

この点で心配なのは、懇談会の審議が、四月という期限を切られ、国のプロジェクトとして推進されることである。

この点で心配なのは、懇談会の審議が、四月という期限を切られ、国のプロジェクトとして推進されることである。

将来炉型開発に重点 基礎研究部門が大幅増額

ジョンソン大統領は、一月二十五日、一九六六年度(一九六五年七月一日～一九六六年六月三十日)予算教書と予算案を議会に提出した。それによると原子力委員会(AEBC)予算額は一十四億八千万(運営費二億三千万)で、前年度に比べて、一億四千三百五十万の大幅な減少を示した。ジョンソン大統領は、六六年度予算は「偉大な社会」機軸と職務の予算であるとして述べたが、原子力は、シボーク原子力委員長の言葉を借りれば、「機会と挑戦」の予算である。すなわち改良型原子炉と高速炉および海水冷却炉の研究開発が重点政策として打ち出された。また、核兵器関係予算が大幅に削減され、基礎研究部門での高エネルギー物理、制御核融合、アイソトープ動力、熱源などの研究および核燃料の平和利用開発の予算が、いさぐさ増額された。

一九六六年度予算で最も注目されるのは、二つの改良型原子炉と高速炉の開発費は減少し、そのかわり、シボーク・ブランクェットと高温ガス冷却炉に初めて高額の予算が要求されたことである。この二つの新しい開発計画に対しては、シボーク・ブランクェットに二千五百五十万、高温ガス冷却炉に九百五十万が六六年度予算に組み込まれた。

予算要求の増減は縮小されたが、原子力委員会の動力炉開発懇談会、および通産省の原子力産業部の審議が進展するにつれて、今後の動力炉開発方針をめぐって、開発懇談会の方針をめぐって、一応の成案を得たいとされており、この方針が決定すれば、おそらく今後十年あるいはそれ以上の期間にわたる原子力開発の軌道が敷かれることになる。各界の強い関心を集めるのは当然であるが、またあくまで慎重に、早くすべき審議を早くすることを目指す。

発電所の工学的安全施設

原子力発電所の安全を確保し、人口中心からの距離の問題を解決するために講じられる工学的安全施設について、このほどアメリカ原子力委員会(AEC)の原子力安全調査委員会(ACRS)は原子力委員会(AEC)の報告書をもとめた。同報告書では、「原子力発電所に適切な工学的安全施設をほどこせば、大衆の保護に必要とされる距離を減らすことになり、また、

この報告書は、原子力発電所の安全を確保し、人口中心からの距離の問題を解決するために講じられる工学的安全施設について、このほどアメリカ原子力委員会(AEC)の原子力安全調査委員会(ACRS)は原子力委員会(AEC)の報告書をもとめた。同報告書では、「原子力発電所に適切な工学的安全施設をほどこせば、大衆の保護に必要とされる距離を減らすことになり、また、

仏、再処理で交渉

フランスは、自国の研究炉および試験炉の使用済み燃料をアメリカの再処理施設で再処理してもらうため、米原子力委員会(AEBC)と交渉している。この話し合いがまとまれば、メリーランド州、トリントの各研究炉、ミネルブ、ペガサスの各試験炉からの高濃縮使用済み燃料が、この四月からAEBCのサンナリ再処理工場に送られることになる。総量は三千四百キログラムで、輸送の際に用いられるフランス製キャスクはAEBCよりすでに承認を得ている。

フランスは、自国の研究炉および試験炉の使用済み燃料をアメリカの再処理施設で再処理してもらうため、米原子力委員会(AEBC)と交渉している。この話し合いがまとまれば、メリーランド州、トリントの各研究炉、ミネルブ、ペガサスの各試験炉からの高濃縮使用済み燃料が、この四月からAEBCのサンナリ再処理工場に送られることになる。総量は三千四百キログラムで、輸送の際に用いられるフランス製キャスクはAEBCよりすでに承認を得ている。

1966会計年度AEC予算要求額 (単位千円)

	1964 (実績)	1965 (議会承認)	1966 (予算)
原子力委員会	326,209	267,455	212,770
原子力委員会	463,657	398,547	378,625
原子力委員会	754,889	753,334	705,400
原子力委員会	502,299	494,122	500,450
原子力委員会	195,761	214,000	239,000
原子力委員会	71,045	78,051	85,000
原子力委員会	14,991	15,786	16,850
原子力委員会	7,916	9,300	12,800
原子力委員会	12,491	11,000	17,875
原子力委員会	9,284	9,069	8,927
原子力委員会	70,780	80,078	81,500
原子力委員会	6,282	7,254	6,300
原子力委員会	4,862	8,080	8,100
原子力委員会	-16,545		
原子力委員会	2,423,921	2,346,070	2,273,597
原子力委員会	39,227	-12,898	40,475
原子力委員会	2,463,148	2,333,172	2,314,072
原子力委員会	328,134	549,652	296,745

米AECが報告書をとめる

原子力発電所の安全を確保し、人口中心からの距離の問題を解決するために講じられる工学的安全施設について、このほどアメリカ原子力委員会(AEC)の原子力安全調査委員会(ACRS)は原子力委員会(AEC)の報告書をもとめた。同報告書では、「原子力発電所に適切な工学的安全施設をほどこせば、大衆の保護に必要とされる距離を減らすことになり、また、

原子力発電所の安全を確保し、人口中心からの距離の問題を解決するために講じられる工学的安全施設について、このほどアメリカ原子力委員会(AEC)の原子力安全調査委員会(ACRS)は原子力委員会(AEC)の報告書をもとめた。同報告書では、「原子力発電所に適切な工学的安全施設をほどこせば、大衆の保護に必要とされる距離を減らすことになり、また、

米ウラン濃縮工場の操短で人員整理

米原子力委員会(AEBC)はオクラホマ州のY-12電磁式濃縮工場の従業員五千五百人のうち千五百人を今年中に解雇すると発表した。一月、二月中には約二百人が解雇される。この工場で行われている仕事の大部分は核兵器用濃縮ウランの生産で、今度の解雇は、その生産縮小によるものである。

オクラホマ州にある大きな施設のうち、定期的に職員を増しているのはオクラホマ州立研究所だけというが、現状では、失業率は、失業者は、新しい仕事を待つには相違ないと思われる。

しかし、AEBCのY-12工場の従業員は、解雇されるすべての従業員に対して、新たな仕事を確保する手配と約束している。

ロマンカ、三千時間連続運転を記録

ソ連のクルチャトフ原子力研究所にあるロマンカ(ひなぶ)と呼ばれる原子力直接発電装置(電圧出力千五百ワット)が、このほど連続運転三千時間に到達した。この装置の熱源になる原子炉は昨年八月十四日境界に達し、第三回シベネフ会議で話題をまいたものである。

燃料にはウラン・カーバイドを使っており、一日当り〇・〇四ギンを消費している。

海外短信

AEA、指先にける線量計を開発
イギリス原子力公社(AEA)のウィンフリッドにある原子力施設において、放射線物質を扱う人の指先の放射線被曝量を測定する新技術が開発された。

この技術は、放射線によるフッ化リチウムのサーモルミネッセント効果を利用したものである。ある作業員に対してこの技術を用いたところ、今まで使われていたようなフィルム線量計による測定よりも、放射線を扱う人たちの胸部の被曝量測定よりも非常に測定精度が高かった。

英国原子力公社開発 John Kerr社製造

TEC 金属火災用粉末消火剤

TEC (Ternary Eutectic Chloride) はウラン、プルトニウム並にマグネシウム、その合金等の消火用として開発された画期的な金属火災用消火剤であります

使用例 1、原子炉用燃料、ラジオアイソトープの使用工場並に実験室
2、発火しやすい金属加工工場
3、可燃性をともなう化学、金属工場
4、飛行場、航空機工場、自動車工場等

輸入元 エ・ア・ブラウン・マクファレン株式会社
原子力・機械部
東京都中央区銀座2の3米井ビル 電話(561) 5141~5

あすの日本をつくる
たくましい力
それは鉄鋼です

輸出額の最高位
それは鉄鋼です

川崎製鉄



JRR-2使用済み燃料の返還遅れる

日米間に意見の相違

国一炉には国産キャスク完成

JRR-2の第一炉心使用済み燃料二十五本は、昭和三十三年四月に取り出されてから二年以上も冷却池に貯蔵されたままで、アメリカへの返還が非常に遅れている。このため原研では、ちか／＼原子力局に対して早期に返還できるように再処理協定の促進を要する予定である。一方、JRR-3の使用済み燃料を廃棄物処理場(クレープヤード)へ輸送するキャスク(木村鉛鉄化学機械株式会社製作)が完成し、一月二十六日原研へ納入、二十七日組立てが行われた。これは国産初めのものである。

腐しよくをきたす

JRR-2の使用済み燃料の返還が遅れている理由は、日本国政府とアメリカ原子力委員会との間の再処理協定ができていないためで、現在、使用済み燃料の権利放棄と不確定債務、再処理料金の決定と支払方法、プルニウム・クレジットなどの細目について日米の考え方に基本的な相違がある。

第一次炉心燃料

第一次炉心使用済み燃料の返還輸送キャスク二基は、昨年八月末アメリカから原研に到着している。このキャスクは米アドローレッド社製の円筒型の容器で、重さ十二ト、高さ一・六メートル、直径一・八メートル、ステンレス鋼と鉛(しゃへい用)で出来ている。この容器は水で満たされ、使用済み燃料十二本が入る。現在、冷却池には第一炉心分

PRがまだ不十分

東北原子力懇談会 R-1利用調査の結果

日本原子力産業協会東北原子力懇談会では、昨年十一月十日付で東北七県(新潟を含む)におけるラジオ・アイソトープ利用のアンケート調査を行ってきたが、このほど調査結果がまとまり報告書が出た。

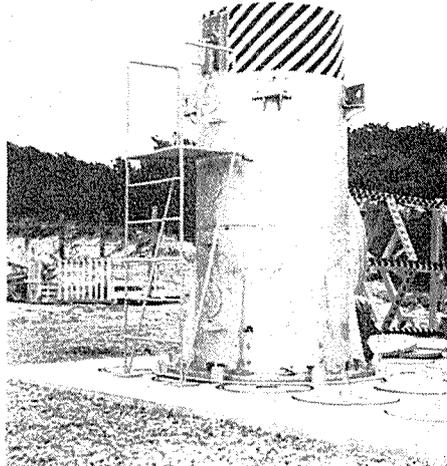
このアンケートは資本金五百万円以上の生産事業所四百五社を対象に行なわれたもので、十一月十五日締切られた。

回答があったのは百二十一社(二九・九%)で、白紙五社、R-1利用状況の内訳は「現在利用している」ものが十二社、「過去に利用した」ものが二社、「利用していない」ものが八社、「利用してない」ものが百一社であった。

現在R-1を利用している十二社について業種別にみると、鉄鋼業五社、化学工業三社、電気機器製造業、紙パルプ紙加工業、非鉄金属製造業、石油石炭製品製造業各一社、製薬業各一社、別荘地開発、福島が各四一・七%で、ほとんどものである。

また使用の成果は全部「上」であるが、回答している今後の計画としては「拡張する」が八社、「現状維持」が四社となっており、密度測定、トレーサ、厚み測定、密度測定、液体検出、非破壊検査、線源測定、ラジオグラフィ、チップレベル検査などの用途を利用、拡張する(答えている)。

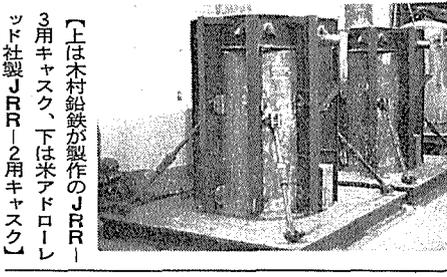
R-1を利用していない百一社について今後、「利用計画がある」と答えたものが十社、「利用されるもの」と予想される。



廃棄物処理場に貯蔵管90本

廃棄物処理場に貯蔵管90本

JRR-3(国産一炉)の使用済み燃料を廃棄物処理場の貯蔵管に貯蔵するキャスク(容器)と燃料搬出装置は、木村鉛鉄化学機械株式が製作を行なっていたが、



【上】木村鉛鉄が製作のJRR-3用キャスク、【下】米アドローレッド社製JRR-2用キャスク

昨年十二月完成。本年一月二十六日原研へ搬入、二十七日その組立とテストが行なわれた。この使用済み燃料輸送用キャスクと燃料搬出装置は、わが国で初めて完成したものである。

キャスクは重さ十一ト、高さ二・五メートル、外径一・三メートル、収納容量は内径二十五センチ、高さ二・二メートル、材質は鉛とステンレス鋼で出来ている。キャスクの外側には保護板としてステンレス鋼、厚さ十二センチが円筒に巻かれていて、

燃料搬出装置は高さ七センチ、鉛でしゃへいされて取り、取はずしが可能で、キャスクの上に乗せられる。廃棄物処理場の貯蔵施設にある使用済み燃料ケースの時蔵管は深さ二・六メートルステンレス鋼製。中はパイピングになっておりファンによる強制循環で被覆材の腐しよくをきたすための乾燥させる。この貯蔵管は九〇カ所(一炉心分燃料二百七十本)ある。

JRR-3の使用済み燃料は、

東海見学センター構想決

準備委員会を設け具体化へ

東海地区原子力施設見学者の見学効果を高めるため、日本原子力産業協会が世話役になり、関係機関ならびに地元機関の間で見学指導機関の設立計画が進められている。東海地区の原子力施設見学者は年間二十万人をこえているが、ことしはさらに東海発電所が完成するので、いっそう増加が予想されている。しかるに、これら見学者のための休憩所や洗面所が乏しい。見学者のPRの重要性から考え、見学の効率化に必要な設備の早急な整備が望まれている。このため、

四月ごろから出てくるが、半年の間に二百七十本(一炉心分)で、冷却池に入れる前にシュートで切断して燃料棒一本を三つに切る。冷却池では百二十日間貯蔵され、ケース(厚さ二センチ、ステンレス鋼製)に燃料棒三本分(九個)が詰められる。このケースは

冷水中でキャスクに納入、十五分トラックで運搬されるわけである。なほ同社は二月八日、原電東海発電所の使用済み燃料を原研のホットラボまで運搬する輸送用キャスク一基の製作も受注した。

五千億円の投入を

産業計画会議 原子力発電政策を要望

産業計画会議(委員長は電中研理事長松本安左衛門氏)は、二月十日「原子力発電政策の確立を要する」と題する文書を、国会、政府その他関係機関に配布した。同書はまず、海外における原子力発電のすそ野を概観した。原子力発電のすそ野を概観した。原子力発電のすそ野を概観した。原子力発電のすそ野を概観した。

燃料の低価格確保は当面供給に不安はないが、将来の燃料供給は米の国有化と時期を合わせて、わが国でも民間の総合燃料供給会社によることが望ましい。燃料費は、Puの買上げは日本での民有移行を配慮して対処すべきだ。また、国内の原子力産業の基礎強化には、実用炉の技術確立と企業育成強化をはかるべきだが、軽水炉の技術は当然民間ベースの技術協力が進められようから、国は日本企業の初期の経済的負担に限り、国内産業への援助を行なうべきである。また地震、気象、人口稠密などの日本の条件から、安全性研究の推進、廃棄物処理のための大規模海洋調査を行なう必要がある。

ついて二月五日ホテル東海クラブで第一回幹事会を開き、具体的な設立準備に入った。

名古屋で放射線利用促進会議を開催
中原熱 三月四、五日

日本原子力産業協会と中部原子力懇談会が共催して、三月四、五日、名古屋市中区大池町名古屋商工会議所で「放射線利用促進会議」を開く。中部原子力懇談会がこれまで事業活動の一環として放射線利用技術専門分科会(主査鹿取名工試所長)を設け、中部地方の原子力普及と推進に努力してきたが、こんどの会議はこの分科会を中心として開き、広く中部地方の企業や機関の放射線利用に役たようとしていくものである。

電力需要は約二千七百五十二億KWHと推定し、これに対して①電力供給は、三千億KWH(水力約八百三十七億KWH、火力約二千二百一十二億KWH、原子力約七十一億KWH)で充足する。②設備計画は、約三千二百一十一万KW(水力五百八十四万KW、火力二千四百四十万KW、原子力約七十七万KW)の発電設備の完成を行なう。

新電力長期計画を決定

電源開発調整審議会

電源開発調整審議会(会長佐藤首相)は二月五日、新電力長期計画(昭和三十三年度、四十五年度の七年間)を決めた。

新計画によれば、四十五年度の電力需要は約二千七百五十二億KWHと推定し、これに対して

一方、「R-1利用を知らなかった」と答えたものが三十五社あり、東北におけるR-1利用の普及啓蒙が十分でなかったことが示されている。しかし全体の九〇・二%がR-1利用について「知りた」と希望している。

以上の結果、東北原子力懇談会では、このアンケート調査報告書を本会の使命に立ち帰り、内閣府の機関として独立の事務局をもち、その政策は閣議決定として推進されるべきであるし、委員長の職務も適当でないといっている。

原子力発電政策樹立に際しては次のように要望している。

①実用炉導入は民間の自主的判断と責任で行ない、政府は環境整備

その実用炉開発体制を整備し、本格的開発体制の移行と次代の原子炉に関する研究開発体制についても考慮する。

③計画期間中の所要資金は、総額約三兆三千億円で見込まれる。

原子二号炉をめぐる、売りが合戦の激しさが話題になっている。ゼネラルエレクトリック社はより安価なコンポネットをというので、系列関係とは別個に引き合いを進めている。最近原研をはじめ各社には、GE社の手紙が来々、中止になったボツカ、ハイ発電所について、PWRでも同じ議論が出た。PWRという、米原子力委員会プラインズ規制部長の手紙(エバンス社宛)の写しを同封して、きめのこまかいところを見せている。対抗馬のウェスタン・ウエスタ社も負けはならぬと、他グループへ働きかけたという。またこの商戦のけわしさを、原の国産化という角度から考えたら、どういふことになるか。

住友原子力工業株式会社

事業内容
放射線の照射・RIの応用研究
原子炉の設計・製作
核燃料の製錬・加工
原子力の関連材料および機器の製造
その他原子力平和利用全般に関する業務

本社 大阪府東区北浜5丁目22番地 電話 203-2321
東京支社 東京都千代田区丸の内1丁目8番地 電話 211-1543
宝塚研究所 兵庫県宝塚市蔵人字末成 電話 6-4441
東海研究所 茨城県那珂郡東海村大字石神外宿2600番地(昭和40年4月完成予定)

宝塚放射線研究所

IAEA、Puパネルに出席して 各国独自の進め方 一、二、三年後のシムポを目標に

電力中央研究所 高橋 実

IAEAは原子力の平和利用を促進する目的でこれに必要な援助を与えたり、また軍事目的への転用を防止するために一九五七年に設立されている。当初は一般の受け取り方も、既述の「転用防止」とか、「援助」とかに注目されたが、最近IAEAが力をこめて注目を集めているのは「促進」の方向であって、各国が各々進んでいる中で、IAEAがどんな役割を果せばよいかを考へようとしている。表面に現われた形はシムポ等の開催で、アイソトープの利用などについては数年前からこの形式の活動を始めている。

今回のPuパネルは、このようなIAEAの専門家会議の計画の一環であり、Puの動力への利用をめぐって各国の研究がやむを得ない程度に進み始めた時を見、まずパネル形式の会合でPuの広範囲にわたる問題について、現在の状態に対する各国の説明や見通しを聞き、IAEAとして何をなせばよいかを知ろうとしたものである。結論としては一九六七年かまたは一九六八年に、Puに関するセミナーまたはシムポを開催する必要がある。有効かつ可能(各国がかなり熱心)にコンファームされたデータを提供しうる可能性であるという報告を出席者からIAEAに提出している。日本の専門家各位もこの時機を考へて、知識の交換に際する態勢を準備していただくことがよいと思う。(一九六七年ははや尚早で、小分野のセミナーになるこの意見があり、一九六八年ならシムポウムが開けよ、との意見が多かった)

出された議題は、物理から経済まで非常に広範囲にわたり、五日間で討議された内容は、熱中性子炉へのPu利用と高速中性子炉へのPu利用の両方について、燃料のバーンアップ、再処理、成型加工、その他の燃料サイクルの問題、それらのコスト、および全体の経済などであるが、結局はPuがいつ、どう、使われるかの点にある。出席者はベルギー、カナダ、ユ

当の三百MWを越はしうるとして、Puの燃料価値を一十十六と算定。その中の九が成型加工に、七が再処理に付する。Puを熱中性子炉(ここでは重水炉)に使うが、それはPu一増の再処理を七増が必要であることが問題。再処理の規模が大きいと、再処理のコストがかなり高くなる。そこでカナダは様子眺めの態度。大規模中央再処理工場を希望しているが、各国とも使用済み燃料の輸送費の観点からこの案には疑問。結局カナダは「一たびPuを再処理工場から出してくれば、そのたんにPuに金がかかる。ストックパイプに貯めておけばPuは高くなる。」というので、見通しが立つまで再処理は行わない、という立場。余談ながら、日本のように地理的に離れていると、前記の通り論のチャンスがない。常時駐在的なサイエンス・アタッシェの他に巡回アタッシェのようなものがあればよいと思つたことである。視察等とも違う。見て回るのでなく、討論して回る。済んだ大意をまとめて、また別の人が出てゆく。その頻度が大切で、出ないといふ世界に合わないという感じがする。日本からは原子力局の大町技官と筆者が出席した。

熱中性子炉へのPuの利用

熱中性子炉と高速炉の双方にわたるもので、と紹介しきれないが、主要なトピックは二、三様である。全体として感じたことはあるが、短文にPu一増を加える毎に燃焼度アップの議論があった。

首相演説のあと、この工場の落成式がナストリ首相により行なわれた、という記念碑の除幕が海軍軍楽隊の吹奏隊によって行なわれる予定になっていたが、国歌の吹奏が終るも除幕は行なわれなかった。

「破壊目的に使用せず」首相演説
インド再処理工場落成式の印象
一月二十二日、トロントの原子力研究所でプルトニウム工場の落成式が行なわれた。私はインド政府の招待でこの式典に列席する機会を得たので、その模様を報告したい。

高速増殖炉へのPu利用

高速増殖炉のPuの燃料価値は熱中性子炉に比べてはるかに高い(米国の試算では約二倍)。Puの増産は、高速増殖炉の建設と並行して進めなければならない。高速増殖炉の建設には、Puの増産が不可欠である。Puの増産は、高速増殖炉の建設と並行して進めなければならない。高速増殖炉の建設には、Puの増産が不可欠である。

プルトニウム工場は、天然ウランを用いる原子力発電所と将来のトリウム-ウラン燃料サイクルを結ぶ増殖炉とを結びつける役割があり、インドは原子力再処理場である。この工場の建設は、プルトニウムとトリウムの天

途上の大きな出来事として、イビュレックス法である。この工場は、外国の援助をまわす、国産ですべてを成し遂げたいという関係者はたまたび自慢を語っていた。インドは五十万トンをプルトニウムと三十万トンの天然ウランを持つ。三万トンのウランを導火線として五十万トンのトリウムを燃やし、インドをエネルギー豊かな国とする国策は着実に進められている。

この式典には、約四十カ国からの代表者の参加があったが、進行係に注意し、よくよく無事除幕が行なわれるという一幕があった。しかし、総理の演説はそれほど熱心なもので、この工場の完成はインドの原子力開発の第一歩として、プルトニウム工場を完成させることである。この式典には、約四十カ国からの代表者の参加があったが、進行係に注意し、よくよく無事除幕が行なわれるという一幕があった。



衆議院科学技術振興対策特別委員長になった岡 良一

科学技術の委員長に、社会党の岡が出たというのは、近ごろのトピックにちがいない。岡さんの本職は医者である。昭和四年金沢医科大学を出て、十一年ウールサイ、存在ではある。新委員長を迎えて、期待と不安もこの原子力界の表情がどうなるか。議員会館の一室に岡さんを訪ねると、六年前には、東海炉の設置反対委員長をやつて、大分みなを困らせたものだ、思い出し話が出る。そんなことも、社会党の岡のイメージを作った。岡は、十年前の非科学的な反対論は有害だ、漁民などの不安に対しては「危険をどう予防するか納得させることが必要だ」と述べた。



石川一区出身、約は本格派、家庭は喜美子夫人と一男一女。医博、六十歳。(SK)

要するところはない。加一々々々。な提案者が、高速炉の開発費について日本国内での一つの推定(注)は、東電(東電一氏)を紹介したところ、英国の開発費見積りと偶然ではあつたが、ほとんど一致した数値であつた。

「Puのストックパイルの可否」
Puが生産された直後、それを熱中性子炉に使うか、それとも高速増殖炉に使うか、二途ある。高速炉に使うか、二途ある。高速炉に使うか、二途ある。

「線源取扱講習」
日本原子力産業会議は三月八日から十七日まで、水戸市青柳町茨城総合職業訓練所で第三回放射線取扱講習会を開く。この講習会は高校卒業程度の学力をもつものに、講義と実習で原子核物理、放射化学などの基礎知識をはじめ、放射線測定技術、放射線安全取扱技術などを習熟させようというもので、募集人員二十一名、二月十七日まで原産サービス事業本部で申し込みを受け付ける。

「Puのストックパイルの可否」
Puが生産された直後、それを熱中性子炉に使うか、それとも高速増殖炉に使うか、二途ある。高速炉に使うか、二途ある。高速炉に使うか、二途ある。

地金部門 亜鉛・鉛・銅及二次品化成品
加工部門 伸銅・ダイカスト・研削材
人工軽量砂利(メサライト)
軽量骨材(三井パライト)
吹付塗装材(ケニテックス)
防錆塗装(ジンキー)
土壌改良剤(ネニサンソ)

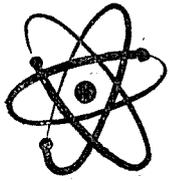
三井金属鉱業

社長 高林 敏巳
本店 東京都中央区日本橋室町2の1ノ1

目的と
ご予算に
合わせて
お選びください

ヒノマル投資信託
オープン投資信託
債券オープン
投資信託
割引債
公債・社債
スーパーストック

大和証券 東京千代田大手町2-8
電話(270)1111大代表



原子力産業新聞

—第313号—

昭和40年2月25日
毎月3回(5日、15日、25日)発行
1部7円(送料不要)
購読料 1年前金200円

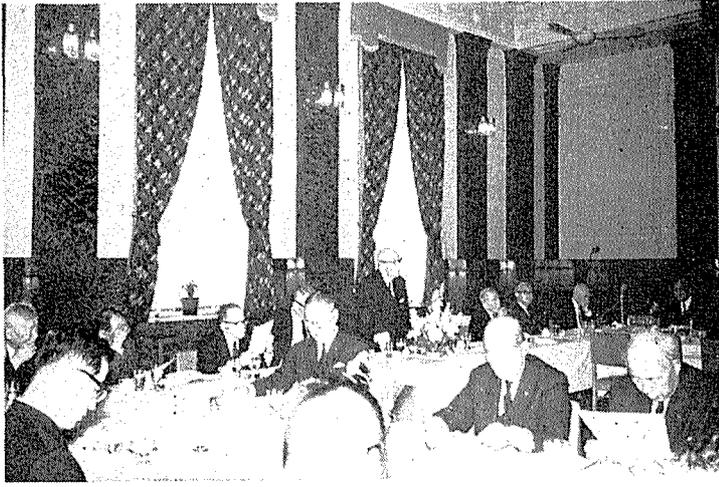
昭和31年3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業会議

東京都港区芝田町1の1(東電旧3階)

電話(591)6121~5

振替東京5895番



理事会であいさつする菅原産会長

原子力委員に青木、武藤両氏 委員長代理は有沢氏

西村氏は留任 活動の強化に期待

愛知原子力委員長は、二月二十二日任期満了の原子力委員石川一、兼重九郎両氏の後任に、東京電力会長青木均一、東大教授・物性研究所長武藤俊之助の両氏を起用、西村順雄氏を兼任させることとし、十六日開会承認の手續をとった。また兼重氏に代る委員長代理には、現在非常勤の有沢白氏が留任となり、指名されるはずで、武藤氏も三月末、東大教授の停年をまわって、常勤に加わるようである。この結果、原子力委員の常勤は有沢、西村、駒形、武藤の四氏となり、一名も減る。

今回の人事は、動力炉開発の促進にからんで、原子力委員会の強化が要望されていた折からとくに注目されたが、さる三日愛知委員長が衆議院科学技術振興対策特別委員会に答弁した「新委員の人選で強化したい」という趣意を述べた人選といえよう。有沢氏は委員政策の第一人者であることから、待望されていたところであり、青木氏は電力界から初めての原子力委員といふこと、のほかに現在日本原子力産業会議の副委員長として、総合エネルギー政策の立場から原子力発電の位置づけを行なうとしていた矢先なので、同氏

青木、武藤両氏 新委員の略歴

▽青木新委員長略歴 △東京電出力身、明治三十一年一月十四日生まれ、六十七歳。大正十一年三月東京商大高等商業科卒業、同年四月東京毛織に入社したが、のち昭和二年五月品川耐火煉瓦支配人、五年十二月取締役、九年十月専務、十三年五月社長となった。また三十二年五月東京電力取締役となり、

東海は動力炉に総力 原研・全面的に機構を改革

一昨年のJDR問題に端を発した原研の体質改善は、昨年六月就任した丹羽理事長のもとで進められてきたが、今回、東海の研究所を動力炉開発に集中できる体制に改編すること、RIセンターを正式に機構として発足させることを中心とする組織改革を断行し、二十一日、その人事を発令した。なおこの改正と同時に、理事の部門別担当制を機能別担当制として、これによって各理事が全般的な見地に立って理事長を補佐するようになった。また本部機構の充実もはかられている。これらの組織改正は、原子力委員会の動力炉開発懇談会での審議がようやく山場を迎え、動力炉の開発体制が問題になっている折から、きわめてタイムリな改革といえよう。

丹羽理事長は昨年六月就任以来、活動の目標を、①動力炉の開発、②RIの生産および利用、③学際産業界へのサービスの三点においてきたが、こんどこれに追加して動力炉開発計画、原子炉設計、燃料開発、研究の四部に整理統合し、職制上の室制は廃止し、グループ制をとることとした。そして基礎研究に総力をあつらえる体制をとった。(原研の組織は二十三

二月二十一日発令された原研の機構改革に伴う人事異動のうち、部長以上はつぎのとおり。

東海研副所長に荒木五六氏 原研の機構改革にもなる人事

二月二十一日発令された原研の機構改革に伴う人事異動のうち、部長以上はつぎのとおり。

民間の協力期待

原産理事会で 松井参事官説明

日本原子力産業会議は二月十八日正午、東京丸の内日本工業クラブで第六十九回理事会を開き、菅原会長のあいさつ後橋本代表理事の報告と説明のうえ、理事の承認説明のうえ、議案を承認した。

①役員異動について②常設委員会の活動について③IAEA総会の東京開催について④第五回

たのは全くの偶然である。私は遊みきった青空、明るい白雲の家、荒涼とした高層といった南欧の風

丘を下った低い地点にあり、研究棟にも近い林の中におかれていた。これはSOPRといわれる



原産だより
通産省との連絡会 二月二十六日正午原産
サエランド氏との昼食会 三月二日正午日本工業クラブ
サエランド氏講演会 二日午後一時半日本工業クラブ
発電推進第二回常任委員会 五日午前十一時日本工業クラブ
開発計画第二回常任委員会 五日午後一時半日本工業クラブ
RI使用機関連絡懇談会 二日午後二時大阪市科学技術センター七階サイエンスクラブ
放射線利用促進会議 四、五両日午前十時名古屋商工会議所
原子力研究会 動力炉開発グループ二月二十六日午後一時原産燃料グループ三月八日午後一時原産燃料グループ三月九日午後一時原産

原子力プラント	原子燃料	放射線機器	加速器
PWR型原子力発電所 PWR型船舶用原子炉 訓練用原子炉 研究用原子炉 原子炉付属装置 原子炉実験装置	金属燃料 合金燃料 セラミック燃料 その他燃料	測定器 ヒューマンカウンタ シンチスキャナー Co ⁶⁰ 照射装置 放射線厚み計 放射線液面計 マニプレータ ペリスコープ I T V	サイクロトロン シンクロトロン ヴァンデグラフ リニヤアクセラレータ コックロフト ベータートロン

三菱の原子力機器

三菱重工業株式会社 三菱電機株式会社 三菱化工機株式会社 三菱原子力工業株式会社

アメリカの原子力予算

一六八年度要求の特徴

アメリカの一九六六年度原子力予算案が、二月八日、ドレステン第二原子力発電所となる大型商用発電所建設について、米ゼネラル・エレクトリック(GE)社とアエス・エレクトリック社とが共同で発表した。電気出力七十九万三千KWのこの発電所の契約価格は、七千六百万ドル(燃料費は含まれていない)で、発電コストは、KW当り四ミルをかなり下回るものである。注目されている。この発電所は、単基炉では世界最大であり、一九六九年完成予定である。

GE社の保証している最低正味(再熱系なし)の発電所の場合と比較して見ると、八十万KWで建設されるが、エジソン社では最終的には出力を七十九万三千KWに増加することを認めている。

この発電所に使われる原子炉は、圧力抑制格納方式を採用した直接サイクルBWR(再熱系なし)が予定されている。

契約価格は七十九万三千KWの最高出力で約七千六百万ドルであるからKW当りの建設費は約九十五万九千六百ドルとなり、GE社が昨年九月発表した価格よりも約一億七千万ドルの最低価格よりもかなり低くなっている。(GE社の価格表では百万KWでKW当り百三兆)

また、八十万KW単一サイクル炉は、同社の新鋭火力よりも若干

世界最大八十万KW

七千六 発電コスト四ミル以下

ドレステン第二GE社が受注

アメリカの商用原子力発電所は、二月八日、ドレステン第二原子力発電所となる大型商用発電所建設について、米ゼネラル・エレクトリック(GE)社とアエス・エレクトリック社とが共同で発表した。電気出力七十九万三千KWのこの発電所の契約価格は、七千六百万ドル(燃料費は含まれていない)で、発電コストは、KW当り四ミルをかなり下回るものである。注目されている。この発電所は、単基炉では世界最大であり、一九六九年完成予定である。

GE社の保証している最低正味(再熱系なし)の発電所の場合と比較して見ると、八十万KWで建設されるが、エジソン社では最終的には出力を七十九万三千KWに増加することを認めている。

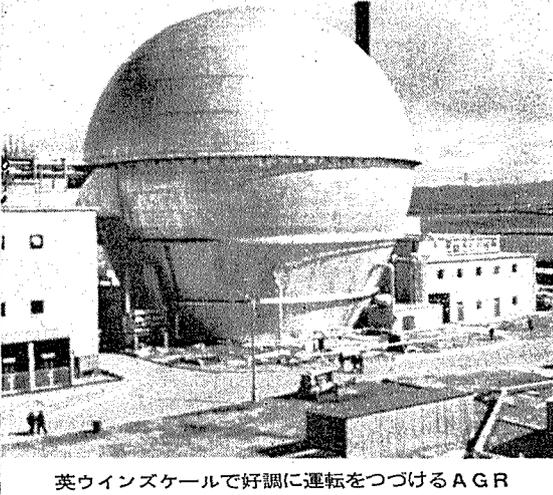
この発電所に使われる原子炉は、圧力抑制格納方式を採用した直接サイクルBWR(再熱系なし)が予定されている。

契約価格は七十九万三千KWの最高出力で約七千六百万ドルであるからKW当りの建設費は約九十五万九千六百ドルとなり、GE社が昨年九月発表した価格よりも約一億七千万ドルの最低価格よりもかなり低くなっている。(GE社の価格表では百万KWでKW当り百三兆)

また、八十万KW単一サイクル炉は、同社の新鋭火力よりも若干

原子力局調査各委員の意見

動力炉開 発懇談会



英ウインズケールで好調に運転をつづけるAGR

動力炉開 発懇談会

現在支障となっているものを除く

英ウインズケールで好調に運転をつづけるAGR

動力炉開 発懇談会

現在支障となっているものを除く

アメリカ型軽水炉も応札

英、ダンジネス「B」入札締切

イギリスの中央電力局(CEB)は、このほど、第二次原子力発電計画の最初のものとなるダンジネス第二原子力発電所(電気出力九十万KW)の入札を締切った。

それによると、予想しどおり三アルプと二社から合計七つの

PUはグラム当り10ドル

米AEC 民有化の場合の買戻価格

米原子力委員会(AEC)は、核燃料民有化の細則の一つとして、PUおよびU₂₃₃の買戻価格を、PU買戻し中止になる一九七一年一月一日まで買戻すよう提

民間 再処理施設に賠償措置

米AEC運輸中は二千万を要求

その結果AECは、施設の敷地内に燃料が置かれていた期間中は賠償手数料として年間五百万を、運輸中のときは四千万を要求するようになるだろう。

これら賠償手数料も暫定的に決

大映株式会社

東京都中央区京橋三丁目二番地

海外短信

米、ビーチボトム

発電炉で火災発生

海外短信

米、ビーチボトム

発電炉で火災発生

TOKYO

GAS

東京瓦斯株式会社

東京都中央区八重洲1の3
電話 (281) 0111~10, 0121~10, 1121~10

明日の日本を礎く.....

H形鋼

I 構造用H形鋼
II 基礎杭用H形鋼

用途・橋梁 地下鉄 建築(ビル) 工場 発電所 学校 その他
船舶 機械 鉄塔 鉄道 土留
各種基礎杭 岸壁 下水渠

八幡製鉄株式会社

なり低くなっている。(G)社の価格表では百万KWでKW当り百給することになっている。また、八十万KW単一サイクル

原子力局試案に各委員から意見 燃料炉開発 懇話会

高速炉開発を強力に 問題は新型転換炉の扱い

原子力委員会の動力炉懇話会は、二月十九日(金)午後一時から東京虎ノ門の国立教育会館で開かれ、前回は原子力局から提出された「動力炉開発の進め方」(試案)に対する各委員の意見の表明が行われた。その結果四月という期限にとられず、十分審議を尽くすべきという意見が多く出たが、四十一年度予算要求のためにも「基本方針」の裏づけがほしいという原研ならびに原子力局の要請で、各委員の意見をとり入れた新しい試案を原子力局が作り、次回に提出して討議を進めることになった。次回は三月十八日(木)に開かれる。

前回は示された原子力局試案の内容は別掲の通りであるが、これに対する各委員の意見の要点は左の通りである。
和田委員 軽水炉主流の考え方に異論がある。経済性が最も早く確立する見通しのある動力炉は、黒鉛ガス炉を加えたい。新型転換炉の開発については、重水減速炉の他にAGR、HTGRなどの高温ガス炉の開発が重要と思われる。また開発の中心は電気事業ではなく、国であるべき。開発全体のウエイトの置き方は、実用炉の国産化を最重点とし、つきに新型転換炉、最後に高速炉の順であってほしい。

松根委員 懇話会の役目は、開発の根本方針を出して政策にまで持ち上げることだ。一番大きいのは研究開発の問題で、計画の中心がしっかりしないと予算がとれぬから、四十一年度要求にとられぬと無理がある。在来型炉はユーザーが自信のあるものをやればよいので、軽水炉に決める必要はない。長期的な開発の目標はつきり高速炉におくことだ。十分時間をかけてスケジューラを作り、マン・パワー、資金、外国との協力を検討した上で、独立した別個の機構(金庫型資金)を考案すべきだ。中間炉は電力会社にやらせたい。中間炉は電力会社にやらせたい。中間炉は電力会社にやらせたい。中間炉は電力会社にやらせたい。

石原、一本松、大塚、田中委員 懇話会の議論はまだ十分尽くされていない。われわれは長期目標としては増殖炉の開発と考えるが、国際協力の具体的な方式を考えた上で、わが国の最速の研究開発体制

重水炉等も考えよ 各委員の意見出つくす

原子力産業部会

通産省の産業構造審議会原子力産業部会の第七回部会は、二月十八日午後、東京大手町の日本長期信用銀行講堂で開かれ、一月二十日の会合に引き続き、各委員からの意見聴取が行なわれた。今回で各委員の意見聴取が一応終わって、問題を検討し整理するため、三月八日には電力側委員と中立委員、三月十二日にメーカー側委員と中立委員との懇話会を開催することになった。今回発表された主な意見は次の通りである。

今井委員(原燃) 核燃料の供給問題は、燃料サイクルの国産化が必要。核燃料サイクルについては、国内再処理体制を中心として、燃料の有効利用に努めるべきだ。米国の核燃料有化化により、海外メーカーの攻勢が活発化し、石油産業以上の外国資本の支配が行なわれかねない。燃料の国産化のため、電力会社には燃料の自給自足を、燃料メーカーには過当競争の回避を、また国には燃料産業の発展のための助成を要望。

原子力局試案 動力炉開発の進め方
一月二十一日の動力炉懇話会へ出された「動力炉開発の進め方」(原子力局試案)の要点は左の通りである。
一、在来型導入炉の国産化および改良 わが国では軽水炉が原子力発電計画の主軸を占めるものと予想される。この炉は技術導入ベイスで建設されるから、その国産化と改良は主として民間企業の自

主的開発によるのがよい。しかし、国としての安全性研究の推進、国産化・改良のための研究開発の助成と実用化の方策の確立、プロトタイプ炉の熱中性子炉への利用技術の確立、をはかる。
二、新型転換炉の開発 主として燃料サイクルの観点から、原子力発電計画に重水減速炉を導入することが適当と考える。その開発は電力業者中心、製造業者参加の形で、設計図面等を海外から入手し、プロトタイプ炉を建設する。

原子力法によるU233の保証期間の期日は定めていないが、十年を越えてはならないと規定している。またPuおよびU233の買上げ価格は、日本原子力学会など二十六学術会共催の第三回原子力総合シンポジウムは、二月十五、十六の両日東京一ツ橋の学士会館で開かれ、東工大武田栄一ほか三氏の講演「原子力炉容器の照射脆化に関する諸問題」など六つの総合講演と、日本の原子力発電開発における燃料サイクル上の諸問題」の二つの討論会が行なわれた。

燃料サイクルの諸問題など 原子力総合シンポジウム終わる
燃料サイクルの諸問題など 原子力総合シンポジウム終わる
燃料サイクルの諸問題など 原子力総合シンポジウム終わる

米、ピーチボトム 発電炉で火災発生
ラデルフィア電力会社は、今月中にAECから低出力運転の許可を得て、直ちに燃料装束に入る予定であった。

40年度事業計画大綱を審議 原子力安全研究協会第五回理事会
原子力安全研究協会(理事長藤波北雄)は、二月十九日原研委員長室で第五回理事会を開き、①役員異動、②昭和四十年度事業計画、③収支予算の大綱などについて審議した。

原産 実態調査を公表 昭和38年度 支出・売上・雇用の実績
日本原子力産業協会は、二月十八日、第五回原産実態調査の報告書を発表した。今回の調査は、昭和三十八年度(三十八年四月一から三十九年三月)を対象年度とし、昨年八月関係三〇六社にアンケート用紙を送って回答を求めたもので、回答を寄せたのは二五三社、回答率八四%、うち実数回答であったのは一九七社で、前年よりいすれも向上している。

原子力局試案 動力炉開発の進め方
一月二十一日の動力炉懇話会へ出された「動力炉開発の進め方」(原子力局試案)の要点は左の通りである。

マネービルなら 日興です
株式投資・投資信託・公社債・割引債券など 証券貯蓄のことでしたら、プランから実行までなんでもご相談下さい。 全国ネットワークでサービスしております。
日興証券
本店 東京・千代田・丸の内(新東京ビル) (212)7531
兜町営業部 東京・日本橋・兜町 (671)1211

剃刃の革命 ステンレスの刃………
ステンレスの刃付けに初めて成功した新製品です。刃先がつねにシャープで、切れ味の寿命がおどろく程長くなりました
POINT
………HISEIDO………
7枚入 100円
資生堂ポアン剃刃
米国インペリアル社と技術提携

原子力法によるU233の保証期間の期日は定めていないが、十年を越えてはならないと規定している。またPuおよびU233の買上げ価格は、日本原子力学会など二十六学術会共催の第三回原子力総合シンポジウムは、二月十五、十六の両日東京一ツ橋の学士会館で開かれ、東工大武田栄一ほか三氏の講演「原子力炉容器の照射脆化に関する諸問題」など六つの総合講演と、日本の原子力発電開発における燃料サイクル上の諸問題」の二つの討論会が行なわれた。

情勢の展開を待つ原子力産業

支出は頭打ち傾向

38年度実態調査報告から

三面所報の通り、日本原子力産業協会は第三回原子力産業実態調査の結果を発表した。今回の調査にあられた主な特徴は左の通りである。

①民間企業(鉱工業、商社、電力)の原子力関係支出高(昭和三十八年度)は約百七億円で、わずかながら前年度の実績を下回り、完全な頭打ちを示した。②鉱工業部門では、支出の頭打ちの傾向は、前年度比五・三%という設備支出の大幅減少にあるが、R1放射線の利用部門における支出減少が著しく、原子力器材部門ではいくらか支出が増している。③経費支出は研究・生産向けと見られるが、前年度より減少を示している。

設備投資が大幅減少

商社の国産調達分は急増

「原子力器材の研究開発生産」

わが国の民間企業による原子力関係分野への支出は、開発当初より三十七年度まで平均年率四・〇%を越える増加率で急進的に増加してきたが、三十八年度における支出高は百一十七億三千七百円、初めて前年度実績を下回る結果を示した。この内訳は鉱工業部門四億五千九百六十六万、商社五億三千九百九十九万、電力六億八千九百九十九万、電力関係を除いてはいずれも前年度より減少となっている。

民間企業の支出

「原子力器材の研究開発生産」部門における支出は七十九億三千八百四十四万、前年度より一億一千六百四十四万(一・二%)の増加、鉱工業部門全体に占める比率も前年度の七・一・四%から七・五・五%に上昇した。またこれを設備、経費の別でみると設備支出が前年度に引続き一段と減少し、経費が代って大幅に増加している。

鉱工業の傾向

「原子力器材の研究開発生産」部門における支出高は百五億一千六百四十四万、前年度比一・七%の減少であったが、この減少は、ほぼ設備支出(一億九千九百九十九万)における前年度比五・四・三%という大幅減少に起因するもので、経費支出(九十三億二千四百九十九万)はかなりの増加となっている。またこれを支出目的別にみると「原子力器材の研究開発生産」部門が僅かながら増加しているのに対して「R1放射線利用」部門はほとんど半減に近い減少となっている。

支出見込

三十九、四十、四十五年度における今後の原子力関係支出見込では、三十九年度は三十八年度と同水準、四十年は三十八年度比一・七・八%増、四十五年は同じく三十八年度比六・三・六%増を見込んでいる。このうち設備支出に向けられる割合は大体二〇%前後、また研究・生産の別では金額的に前者と増加の傾向をみせてはいるが後者の伸び率が大きく、研究支出の割合は漸次低下の傾向を示している。

雇用の現状と将来見込

鉱工業の三十八年度原子力関係雇用人員は七千三百二十名で、前年度とほとんど変化はないがその構成では技術系職員が増加し、事務系は減少が目立ち、事務系はほぼ横ばいである。また三十九、四十年、四十五年を対象とした雇用の見込で、三十九、四十年に工業の大規模による急増が予想されるのは前調査と同様である。

売上の急増

「原子力器材の研究開発生産」部門に限ってみると研究支出は三十七年度に初めて減少を示した。三十八年度は経費関係の大幅増で前年度比四・〇%の増加となっており、三十八年度の鉱工業原子力関係売上高は前年度に比べて一億七千九百九十九万、前年度比五・五%の増加となった。この増加は主に原子力関係機器製造業の増加によるものであり、二・二位で全体の七割弱を占めたが、三位以下では若手職員の交代があり(前年度六位の造船・造船が三位になった)その比率の比重が高まる傾向を示している。

五G参加企業の比重増加

三十八年度の鉱工業部門における原子力関係諸業種中における五Gグループ参加企業のウエイトは、全調査会社数の増加により、会社数ではやや低下したが、その他の諸業種では前年度に比べて増加を示し、民間における原子力関係が五Gグループ参加企業を中心として推進されつつあることがうかがわれる。

商社の傾向

商社の三十八年度中の原子力関係取扱高は五十六億八千九百九十九万、前年度より一億九千九百九十九万、前年度比三・三%の増加を示している。

電力の傾向

電力の三十八年度原子力関係支出は前年度より一億九千九百九十九万、前年度比三・三%の増加を示している。

最近のアイソトープ技術

斎藤信房EARR部長の講演から
国際原子力機関(IAEA)のアイソトープ部長の斎藤信房氏は二月十六日の原子力総合シンポジウムで、IAEAのR1部門の活動状況に関連して、R1技術の最近の状況について要旨次のような講演をした。



科学技術庁原子力局長 武安 義光



原子力関係実況調査会会長 武安 義光

原研監事に転出した鈴木嘉一氏の後任として登壇した武安氏は、日米開戦の昭和十六年二月に東京電気学校を卒業し、戦中派の工学士。剣道六段に達し、怒り眉の長身で、髪には白いものが混じっているが、声は若々しい。さっぱりとした人柄という評判である。

雇用の現状と将来見込

三十八年度の鉱工業部門における原子力関係諸業種中における五Gグループ参加企業のウエイトは、全調査会社数の増加により、会社数ではやや低下したが、その他の諸業種では前年度に比べて増加を示し、民間における原子力関係が五Gグループ参加企業を中心として推進されつつあることがうかがわれる。

商社の傾向

商社の三十八年度中の原子力関係取扱高は五十六億八千九百九十九万、前年度より一億九千九百九十九万、前年度比三・三%の増加を示している。

電力の傾向

電力の三十八年度原子力関係支出は前年度より一億九千九百九十九万、前年度比三・三%の増加を示している。

最近のアイソトープ技術

斎藤信房EARR部長の講演から
国際原子力機関(IAEA)のアイソトープ部長の斎藤信房氏は二月十六日の原子力総合シンポジウムで、IAEAのR1部門の活動状況に関連して、R1技術の最近の状況について要旨次のような講演をした。

味の素株式会社
「味の素」・アジシオ・「ハイ・ミー」
強力「味の素プラス」・小麦澱粉・「直分
解味液」サラダ油・天ぷら油・コンソメ
スープ・クリームポタージュ・脱脂大豆
レシチン・苛性ソーダ・晒粉・液体塩素
チェックス・L-リジン その他

疲れ・肩こり・神経痛に
ビタミン
●筋肉痛・疲れ目・便秘・夜尿症・難聴・心臓病にも
●治療には1日25~200mg ●無臭・持続性の新型活性ビタミン剤
25mg錠・50mg錠 各30入・100入 他に5mg錠・散

14号
3月5日
15日、25日発行
円(送料不要)
前金200円
95番

また原子力第一船の発注